

身高 Dream Project

職業人インタビュー 年次発表会

1年次生が夏休みに「産業社会と人間」の授業の一環で行った「職業人インタビュー」の年次発表会が行われました。37の班が興味・関心のある職業に携わる方にインタビューした内容を基に、発表の準備に取り組んできました。各クラスにおいて班ごとに職業人の仕事に関する思いなどの内容についてスライドにまとめ、分かりやすく伝えることを意識してプレゼンテーション能力を向上させました。クラスにおける発表会において上位に選出された各クラス4班の計12班が年次発表会に臨みました。

年次発表会では、保育士、看護師、図書館司書、僧侶、農業などの仕事についての発表が行われました。1年次生は発表を視聴し、評価シートを記入しました。評価シートは発表者に渡され、さらに良いプレゼンテーションを行うための材料となります。すべての発表が終わったのちに審査が行われ、最優秀賞1班、優秀賞2班が決定しました。この班は2月に行われる総合学科発表会において発表を行う予定です。また、今回発表を行った班を含めて18班が、中高一貫教育事業の一つであるキャリアセミナーにおいて身延中学校と南部中学校で発表を行います。



生徒の感想 遠藤 真凜 [南部中学校出身]

私は以前から興味を持っていた看護師という職業について、実際に病院を訪問し、勤務されている方にインタビューをして調査を行いました。直接お話を聞くことで、働く中での苦労ややりがいなどを知ることができました。また、年次発表会で他の班の発表を聞くことで、自分が知らなかった様々な職業の見えない面に触れることができました。職業人インタビューの活動を通して学んだことを、将来の進路決定に生かしていきたいです。

家庭科実習

家庭科では、2、3年次の選択科目において、1年次の基礎科目を発展させた内容を取り扱っています。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため実習が制限されていますが、「できること」を実践しています。例えば、高齢者施設訪問ができないため、施設の方を講師として招きました。また、身延山大学との連携授業は継続しており、先日は認知症サポーターの講義を受けました。「食」に関する授業では、地域の方を招き郷土の食材を用いた防災食(パッククッキング)の調理を行いました。以上のように、学んだことを活かした実践的な学習に取り組んでいます。



インタラクティブボード

身延高校では、現在6台のインタラクティブボードを活用した授業を実践しています。動画や写真などの資料を示したり、スクリーンに直接書き込んだりすることができ、生徒の興味関心を高めるとともに、さらに分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。



SHINKO 身高VIEW

Vol.15
2020.December
MINOBU
HIGH SCHOOL

実りの秋特集号



天高く、 武芸きらめく 身延かな



部活動大会結果

各部とも新体制となり臨んだ大会等の結果をご覧ください。

男子ソフトボール部

山梨県新人大会(兼)全国選抜大会県予選 準優勝

野球部

第73回秋季関東地区高校野球山梨県大会
身延(10)VS北杜(0)/身延(2)VS都留(4) ベスト16

柔道部

第38回山梨県高等学校新人大会柔道競技 男子66kg級 第3位

演劇部

山梨県高等学校演劇大会地区大会 優秀賞 県大会出場
山梨県高等学校演劇大会県大会 芸術文化祭賞・最優秀賞・演技賞 関東大会出場

陸上競技部

令和2年度第24回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 男子円盤投 6位
全国高等学校陸上競技大会2020 男子砲丸投 4位 男子円盤投 6位

男子バスケットボール部

令和2年度 第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会山梨県大会
身延(48)VS北杜(78) 1回戦敗退 3年生最後の大会

男女ソフトテニス部

山梨県ソフトテニス新人大会
女子 個人(1ペア) 県大会2回戦出場 団体戦出場
男子 個人(2ペア) 県大会2回戦出場 団体戦2回戦出場

第71回 身高祭 体育部門のみ開催

9月1日(火)に身高祭体育部門が行われました。6月の身高祭文化部門が新型コロナウイルスの影響により中止となりました。体育部門だけでも開催しようと、生徒会本部、学園祭実行委員会を中心に準備を行い、無事開催することができました。今年度初めての生徒会行事となりました。



生徒会長 遠藤 李夢 [南部中学校出身]

今年はコロナ感染症対策を取りながら、どうすれば本当に3密を避けながら実施できるのかと生徒会や先生方と悩みながら考えた結果、体育部門のみの開催となりました。開催するにあたって、3密を避けるような種目を考えたり、リモートで閉会式を行ったり、例年とは全く違う身高祭となりました。身高祭を終えて、多くの生徒が楽しみ、各クラスが団結する姿を見ることができ、体育部門だけでも実施できてよかったと思います。しかし、3年次生にとっては最後の身高祭で、悔いがある人もいたかと思います。1、2年次生はこの経験を来年に繋げ、コロナ禍でも最高の身高祭を作り上げてほしいと思います。



体育局長 渡辺 類 [檜形中学校出身]

開催にあたっては、大変な点がたくさんありました。だからこそ、「できることは何か」ということを考えました。少しでも生徒や先生方、そして私自身も楽しみたいと思い、計画が始まりました。生徒同士の連絡が思うようにできていなかったため、当日は不備がないかどうか常に気を張っていました。閉会式もTeamsを使って行いました。終了後は後悔なくやり切れたと思い、受験へと気持ちを切り替えることができました。



学園祭実行委員長 旗持 海優 [南部中学校出身]

今年は体育部門のみの開催となってしまう、3年次生としては、とても悲しかったですが、実施できるか分からない状況の中で、1日だけでも身高祭が実施できたことがとても嬉しかったです。テントの中ではマスク着用、人との距離を取ることで、密にならないような競技内容を考え、生徒会や先生方の協力のおかげで、無事に終わることができました。限られた中でしたが、とても盛り上がり、他年次との交流が見られたので良かったです。今後も身高祭だけでなく、様々なことに新型コロナウイルスの影響が出ると思います。それでも、できることを自分たちなりに考えて、行動していきたいです。



Life Museum 2020

10月8日(木)から14日(水)まで「ライフミュージアム2020」を開催しました。今年度は、ワークショップや講演会を中止し、縮小した形での実施となりました。

“学校を博物館に”のコンセプトのもと、身延高校生の作品だけではなく、身延中学校・南部中学校の生徒の作品や、PTA・地域の方々の作品・卒業アルバムも展示しました。また特別展として、「柏原恵美 作品展」も開きました。柏原さんの透明フィルムを幾重にも重ねて作られた作品は、鑑賞した多くの人に新鮮な感動を与えてくれました。



美術部

望月 奎吾 [身延中学校出身]

今年度のライフミュージアムでも、作家の方の独創的な作品を中央玄関に展示することで、ライフミュージアムを盛り上げることができました。また、校外の方との交流や新たな刺激を受けることができたと思います。新型コロナウイルスの影響で校外の方との交流が難しい中、このような場を設けることができ、良い経験になりました。また、中高生の作品を見て、自分にはないアイデアに触れ、感受性を高めることができたと思います。今回のライフミュージアムに出した私の作品を見た人に何かを感じ取ってもらえたら嬉しいです。

家庭科クラブ

山本 愛莉 [南部中学校出身]

家庭科クラブは、制服の残反生地(使われなくなった制服生地)を使ったバックと、ビーズで動物や鞆のキーホルダーを作り展示しました。新型コロナウイルスの影響で、これまでのように食べ物の販売や体験コーナー等はできなかったのが残念でしたが、その分、展示作品に力を入れることができました。制服の生地を使い何かを作るとは初めてだったので「バックを作る」と聞いて皆不安でしたが、実際に何回か作っていくうちに良い作品ができたので満足できたと思います。



中学生の感想

卒業アルバムでは、たくさんの時代があって面白かった。

高校生の先輩の絵は、リアルな写真みたいだった。

僕の絵も飾られていて嬉しかった。

美術の授業で今回見たことを参考にしようと思いました。

個性的で見ていてすごく楽しかった。

来年も行きたいです!!

